

平成21年度 第5回 鳥取市生活交通会議
議事要旨

1. 日時 平成21年11月17日(火) 13:30~15:00
2. 場所 鳥取市役所 本庁舎6階 第1会議室
3. 出席者
- | | | | |
|----|------------|------------------------------|-------|
| 会長 | 〔学識経験者〕 | 鳥取大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻准教授 | 谷本圭志 |
| 委員 | 〔住民・利用者代表〕 | 市自治会連合会(旧鳥取市,国府町,福部町) | 小原保 |
| | 〃 | (河原町,用瀬町,佐治町) | 谷上學 |
| | 〃 | (気高町,鹿野町,青谷町) | 田中勝昭 |
| | | 市老人クラブ連合会(旧鳥取市,国府町,福部町) | 前田豊 |
| | 〃 | (河原町,用瀬町,佐治町) | 岡村博之 |
| | | 市連合婦人会 | 油谷都々江 |
| | 〔運送事業者〕 | 日ノ丸自動車株式会社 取締役営業部長 代理 | 坂田達彦 |
| | | 日本交通株式会社 バス営業部次長 | 中嶋敬治 |
| | | 西日本旅客鉄道株式会社 鳥取鉄道部運輸科長 | 三谷宏志 |
| | 〔運送事業者労組〕 | 私鉄中国地方労働組合 日ノ丸自動車支部 執行委員長 代理 | 徳丸淳史 |
| | 〔中国運輸局〕 | 鳥取運輸支局主席運輸企画専門官 | 但住和雄 |
- 事務局 鳥取市都市整備部交通対策室(中村、鈴木、遠藤)

協議事項

(1) 各実証運行の中間実績と今後の対応について

湖山循環バス実証運行について(資料1)

【事務局が説明】

- 谷本会長 湖山については現時点の改善案について議論するのではなく、報告ということによるしいか。
- 坂田委員 2月からの運行内容改善であれば、あまり時間的にも余裕がないが、事後承諾になるのか。遅くとも12月中旬に決めなければならない。
- 事務局 事後承諾ということはない。12月中旬の生活交通会議で正式な変更案を提示するので、そちらで議論していただきたい。事前に現時点で言える問題点に対する改善案を知っていただくことが目的である。
- 小原委員 問題点がある程度出てきているので、議論はすべきである。採算はどうか。市の財政も考えなければならない。また、住民意見等を参考にしても案の中からルートがある程度絞られるのではないか。
- 谷本会長 そういうある程度の議論はあると思う。正式な議論は次回ということになるだろうが、ポイントとなる部分については事前に共有しておかなければならないというスタンスだと思う。
- 事務局 東桂見にて5分時間調整するのを無くしたいという考えがある。また、尾崎病院まで回る必要性については、まだ十分に地元意見等も集まっていないこともあり、判断しきれていないところが現状である。こちらについては引き続き検討を進める。
- 谷本会長 現状から判断すると、いくつか考えられると思う。1つは、現在の利用が多くないのであれば、ルートを変えて利用者が行きたいと思うところに行ったら良いという考え。2つめは、利用していないところには行かないという判断も考えられるということ。あとは、時間帯についての検討も必要であり、午前中の利用が多ければ午前中を重点的に運行する等についても考える必要があると思う。それが採算性にもつながる。
- 坂田委員 コミュニティバスと考えたら、利用が少ない時間帯でも高齢者の方は移動することも考えられるのに便を無くしても良いのか。走らせることが可能なのに無くすことの方が問題ではないのかと思う。
- 谷本会長 アンケート結果や利用実態を明らかにしてから、程度の問題は考慮すべきである。
- 事務局 松保地区に地元説明に行ったが、住民の意見を十分に聞くようにと言われた。公費で実施している限り、利用頻度が少ないところは減らすということも一つの案ではというご意見もあった。事務局としては、東桂見の待ち時間を有効に使いたい、尾崎病院の利用をどうするのか、ルートとして右回りでの運行も想定できる、などについて検討しており、住民の皆様の意見を尊重しながら12月中旬までは決めたいと考えている。
- 小原委員 改善案3は現在の時間で運行できるのか。改善の方向性は見えているのでは。
- 事務局 高江町方面に回ることで東桂見の待ち時間5分は解消できる。ただし、それに加え尾崎病院まで回ると現在の時間で運行するのは難しいと思う。
- 中嶋委員 5分間のポケット時間は、バス運行側としては時間調整として必要だと思う。
- 事務局 湖山駅で5分待ち時間を作っているの、そちらで調整はできると考えている。
- 坂田委員 実際は約30分で一周する。乗務員の交代もあり、湖山駅を起点としている。東桂

見て時間調整のための余裕を持たせたが、実際はほとんど遅れもなく運行している。

小原委員 採算はどうか。どのくらい運賃徴収できれば採算があうのか。

坂田委員 現在は、運賃のみでの採算はとれていない。ただし、採算性に重点を置くとコミュニティバスの運行は難しいという面もあると思う。

谷本会長 採算だけでなく、南北の需要発掘が湖山循環バスの主な目的である。バスを使って地域を活性化できれば、それはコミュニティバスの効果になるので、今はそういった広い視野で考えていくことが重要だと思う。ただ、将来的には採算も考慮に入れての検討をしていく必要はある。

引き続き利用状況や地元意見を整理し、改善案について次回会議で提示するという
ことで異議はないか。同意ということによろしいか。

一 同 異議なし。

米里線乗合タクシー実証運行について（資料2）

【事務局が説明】

谷本会長 米里線については、報告ではなく、改善案ということによろしいか。

中嶋委員 バス停はこの路線においては、今回提案している西大路口以外にはないのではないかと考えている。ただ、正蓮寺の店舗までは多少距離があると思う。米里線として2路線で運行することは住民にとってどうなのか？

事務局 市立病院への便の利便性は確保して、追加という形で桜谷口方面への路線を追加検討している。

谷本会長 デマンドで行先を聞くのであれば、市立病院に行ってから、桜谷口に回ればよいのでは。

中嶋委員 採算性を考えると、1台で運行できれば良いと思う。

谷本会長 1、2便を合わせて調整できれば良いのではないか。

事務局 事業者の方と調整させていただく。

谷本会長 デマンド化の手間がかかるが、利便性・効率性が上がり、画期的な取り組みだと思う。

時刻や運行ルート等について利用者にとってできるだけ不便を少なくなるよう検討を進め、運行形態はデマンド化することによろしいか。

一 同 異議なし。

浜村青谷線乗合タクシー実証運行について（資料3）

【事務局が説明】

但住委員 一週間とか、まとめた予約はできないのか。

事務局 毎日利用している方については、可能かと思えるが、現時点では突然のキャンセル時の対応などもあり、検討中である。

谷本会長 浜村青谷線について、今回の改善案をベースに詳細を詰めていくという形によろしいか。
異議なし。

一 同

(2) 公共交通マップの作成について(資料4)

【事務局が説明】

谷本会長 住民の方に、他の自治体の事例を見ていただき、意見をいただいた方が良いと思う。

中嶋委員 鳥取市全域ですか。

事務局 鳥取市を対象に作成する。あまり範囲を広げると内容が収まらなくなる。

中嶋委員 ポケットに入るようなものにするのか、自宅で保存できるようにするのも考える必要がある。

谷本会長 利用者が使いやすくすることが最も重要である。住民の方の意見を寄せていただきたい。

具体的なやり方は事務局に任せて、作成するという事によろしいか。

一 同 異議なし。

以上